

I. 令和3年度事業報告

令和3年度の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の落ち込みや感染拡大防止のための自粛等により中止や縮小を余儀なくされた事業が多かったものの、感染予防策の徹底やオンライン活用など事業継続の工夫に取り組んだ。また、各種助成事業を柔軟に運用しコロナ禍で頑張る観光事業者や地域の取組を支援した。外国人市民に対しても、ワクチン接種を含む新型コロナウイルス感染症に関する支援情報を多言語で迅速に発信し、生活上の課題等に対する相談対応や通訳支援などの活動を行った。

[公益目的事業]

1. 観光振興に関する事業

ワクチン接種等による感染状況の改善を見込み、国内外の観光客誘致や受入整備事業等を再開予定であったが、状況は大きく改善されず、昨年度に引き続き事業中止や縮小が続いた。海外に対してはオンラインによる宣伝活動や情報提供、国内での商談会での誘致活動やアフターコロナを見据えたプログラム創出事業を実施、国内に対しては感染状況に注意しながら各種の誘致事業や環境整備事業を実施した。

(1) 海外プロモーション事業

① 誘致事業

台湾やタイ等の都市部において、観光目的地としての仙台の認知度向上及び仙台を訪問先とする旅行商品造成の促進を目的とした、相手国の旅行エージェントやメディアへの誘致PR事業を予定していたが、コロナ禍での各種催事の中止や海外渡航制限等により、オンラインによるプロモーションや情報提供、国内での関係者招請等を実施した。

i. 旅行博覧会・商談会等への参加支援

対象となる旅行博覧会・商談会等の中止や延期により実施できず。

ii. 台湾、タイにおける観光客誘致プロモーションの実施【重点】

ア 台湾、タイでの見本市への出展

- ・台湾：大台南国際旅行博

開催日：令和3年11月12日（金）～15日（月）

（仙台からは渡航できず、現地事業者プロモーションを委託）

- ・タイ：第27回タイ国際旅行博

開催日：令和3年12月23日（木）～26日（日）

（仙台からは渡航できず、現地事業者プロモーションを委託）

イ 台湾、タイにおける現地誘致営業

- ・台湾：海外渡航自粛措置等のため実施できず。

- ・タイ：Japan Calling2

開催日：令和3年11月6日（土）～7日（日）

（仙台からは渡航できず、現地事業者プロモーションを委託）

- ・タイ：第27回タイ国際旅行博

開催日：令和3年12月23日（木）～26日（日）

(仙台からは渡航できず、現地事業者プロモーションを委託)

iii. 日本国内での商談会の開催

JNTOの主催する東南アジア市場に向けたオンライン商談会に参加し、現地エージェントに向けて仙台の魅力及びインセンティブツアーのPRを実施した。

- ・マレーシア

開催日：令和3年11月9日（火）

商談件数：マレーシア 9社、フィリピン 1社

- ・シンガポール

開催日：令和3年12月7日（火）

商談件数：8社

- ・タイ：バンコク

開催日：令和4年1月28日（金）

商談件数：6社

iv. 仙台インセンティブツアー情報サイト活用による情報発信

インセンティブ専用ホームページにおいて、支援等の情報発信を行うことにより、アフターコロナを見据えた、仙台へのインセンティブツアーの誘致を図った。また、JNTOバンコク事務所のタイ旅行エージェント向け訪日情報プラットフォームに情報を掲載し、仙台の魅力とインセンティブツアーのPRを実施した。

v. インセンティブツアーの支援

海外渡航自粛措置等により、実施できず。

vi. 台南インアウトバウンド強化事業

渡航の目途が立たず、実施できず。

vii. タイから東北への定期便利用促進プロモーション

旅行博については中止となり出展できなかったが、旅行会社及びメディアの招請や、純広告の掲載等で情報発信を行った。

② 受入整備事業

アフターコロナを見据え、海外からの旅行者が仙台に滞在中、快適に過ごすことができるよう、行政や民間企業等と連携し、環境整備事業を実施した。

i. 体験プログラムの創出【重点】

コロナ禍の市場の変化に対応すべく、マイクロツーリズムや新しい生活様式に適したプログラム、仙台ならではのプログラム創出活動を行い、目標の1,000本創出と専用ウェブサイト「仙台旅先体験コレクション」(以下、旅コレ)への掲載を達成した。またSNS等による旅コレの認知度向上、プログラム事業者対象の研修会・交流会を実施し、事業者の満足度調査において90%超の高評価を得た。

ア 体験プログラムの創出実績（令和元年度～令和3年度）

- ・創出総数：1,159本（内、インバウンドにも対応349本、インバウンド専用42本）

- ・仙台市内のプログラム創出数：615本

- ・仙台ならではのプログラム創出数：148本（仙台市の歴史・文化・自然・復興など地域固有

の資源を活用した体験プログラム)

- ・新しい生活様式に適したプログラム創出数:299本(オンライン体験9、アウトドア体験290)

イ 専用ウェブサイトの認知度向上

- ・令和3年度の月平均ページビュー数:52,837PV(令和2年度比165%、開設当初比265%)
- ・検索エンジン(GoogleやYahoo)でのキーワード「体験」検索で上位ランクイン

ウ 令和3年度事業者向け研修会・交流会の実施

(研修会の内容は、後日、YouTubeによる限定配信)

- ・第1回 基礎から学ぶウェブプロモーション

開催日:令和3年7月20日(火)

場所:仙台観光国際協会4階会議室

参加者:40名(ウェビナー27名、現地13名)

- ・第2回 戦略立案から考えるウェブプロモーション

開催日:令和3年10月26日(火)

場所:仙台観光国際協会4階会議室

参加者:29名(ウェビナー16名、現地13名)

- ・第3回 with コロナ時代の体験型観光市場のトレンド及び販売戦略・旅コレフェス'22開催案内

開催日:令和4年3月23日(水)

場所:仙台観光国際協会4階会議室

参加者:28名(ウェビナー18名、現地10名)

エ 補助金交付事業を実施し、仙台市の歴史・文化・自然・復興など地域固有の資源を活用した新たな体験プログラムを創出した。

交付事業者数	15事業者
金額	1,237,000円

ii. インバウンドセミナーの開催【重点】

仙台市内及びその周辺の観光関連事業者に対し、外国人観光客の受入環境整備を図るためのセミナーを開催した。インバウンド総論に加え、仙台市が実施しているベジタリアン・ヴィーガン・ムスリム受入環境整備事業を踏まえて、「食」の多様性についてもテーマの一つとした。セミナーはオンライン形式で開催、後日YouTubeによる配信を行った。

令和3年度外国人観光客対応力向上オンラインセミナー

「外国人観光客受入のために必要なこと～アフターコロナに備えて～」

開催日:令和4年2月22日(火) 13:30~16:30

参加者:44名

【第1部】今求められるインバウンドに対する心構え

【第2部】今日からできる!無理なく始めるフードダイバーシティ対応

(2) 国内プロモーション事業

① 観光行事等開催支援事業

コロナ禍で地域観光行事の中止・規模縮小等が続いたものの、主催団体が実施する代替行事及び感染症拡大防止策を支援するため、協賛負担金を拠出し観光振興の促進を図った。

i. 祭り・イベント開催の支援

② 観光キャンペーン等推進事業

集客効果が高く仙台の認知度向上につながる観光関連企画やプロスポーツと連携し、仙台の魅力づくりと誘客促進を図る予定であったが、コロナ禍により首都圏や近県で実施予定だった観光関連企画が中止となったため、県内の誘客促進を主として実施した。

i. 仙台七夕まつり等祭り・イベントへの参画

「仙台七夕まつり」等のお祭り・イベントが縮小開催・中止となり、首都圏や近県へのキャンペーン等は中止となった。

ii. 東北絆まつりへの参画

山形市で開催予定の「東北絆まつり」は展示のみの縮小開催となった。

iii. 東北デスティネーションキャンペーンへの参画【重点】

キャンペーン（4月～9月）に併せ、関係各所と連携し国内の観光客誘客促進並びに海外へのPRを図る予定であったが、多くのイベントやセレモニーが中止となり、縮小して実施した。

iv. 旅行商品の造成支援

旅行会社が造成する旅行商品が掲載されたパンフレットに対し、仙台の観光情報等の掲載を条件に、作成費用の一部を助成した。（年2回）

交付件数	7件
金額	900,000円

v. プロスポーツを活用した誘客促進及び情報発信

在仙のプロスポーツチーム支援組織「仙台プロスポーツネット」と連携し、プロスポーツを活用した誘致・情報発信を行った。

vi. 観光誘致セールス（首都圏セールス）の実施

コロナ禍により、首都圏旅行会社等に対する誘致セールスを中止した。

③ 教育旅行受入促進事業

仙台市内の教育旅行に対応できる関連施設（宿泊施設、文化・観光施設、工場等）と連携し、関連情報を把握、整理するとともに、本市の教育旅行に関する問合せや相談に関して、市内各施設の情報提供やコーディネートを行った。また、他県の旅行会社や学校に対して、行政や民間企業等と連携し、セールス活動や現地説明会等により、総合的な誘致活動を行った。

i. 教育旅行誘致キャンペーンの実施

ア 仙台市、宮城県等関係団体と連携して、北海道へのプロモーションを実施し、中学校教育旅行の誘致を図った。

【セミナー、商談会】

日時：令和3年12月1日（水）13：30～16：00

会場：ホテルマイステイズ札幌アスペン

参加者：22団体29名（中学校13校17名、旅行会社9社12名）

【セールス】

実施日：令和3年11月29日（月）～12月2日（木）

セールス先：旅行会社7社，中学校など教育関係機関23か所（函館市，札幌市，小樽市，岩見沢市，苫小牧市，千歳市内）

イ 伊達な広域観光推進協議会と連携し，首都圏からの教育旅行の誘致を行った。

【東京旅行代理店訪問】

実施日：令和3年10月25日（月）～26日（火）実施

【千葉、神奈川旅行代理店訪問】

実施日：令和3年11月4日（木）～5日（金）実施

④ 観光客受入整備事業

仙台市内の周遊を促すためのパンフレット等の作成及び設置，受入体制の整備等の事業を行う予定であったが，一部事業を中止するとともにアフターコロナを見据えた受入体制の整備等を行った。

i. クーポン付街歩きMAPの作成

市内中心部の飲食・お土産品販売店舗等の協賛と宿泊施設の協力により，市内の宿泊客を対象にクーポン付街歩きMAPの配布を行った。（5月～3月）

配布先：協賛店舗37店舗，配布先宿泊施設62施設

ii. 観光ボランティアガイド団体の活動支援【重点】

ア 仙台市内で活動している観光ボランティアガイド団体の事業等に対する助成を行った。

交付団体数	2団体
金額	105,000円

イ コロナ禍により『観光ガイドと行く!!「伊達な名所」巡り』は中止し，替わって瑞鳳殿，大崎八幡宮，北山，陸奥国分寺薬師堂で活動している観光ボランティアガイド団体と連携し，仙台の魅力盛り込んだ「仙台伊達な名所巡りまちあるきマップ」を製作した。

ウ 加盟ガイド団体会員のおもてなし力の向上や新たなガイド希望者の発掘・育成等を目的に，「観光・おもてなし研修会」を実施した。

開催日：令和4年3月2日（水） 演題：「コロナ禍における観光ガイドについて」

講師：宮城県松島高等学校 主幹教諭 櫻井潤 氏

参加者：37名

iii. 街角案内所における情報発信

仙台市内の商業店舗等と連携して設置している街角案内所17施設において，観光情報をはじめ定期的な情報発信とパンフレット類の提供を行った。

iv. 宿泊施設空室情報の提供

JR仙台駅2階の仙台市観光情報センター内に宿泊施設の空室情報を確認できる端末を設置し，当日及び翌日の空室情報を日本語及び英語で提供した。

v. 他団体との連携による情報発信

「スポーツコミッションせんだい」への参画による観光情報の発信等を行った。

vi. 体験プログラムの創出（再掲）

vii. 仙台まるごとパス運営協議会等の事務局運営

仙台圏の二次交通商品である「仙台まるごとパス」と「るーぷる仙台」の宣伝・販売促進を目的に設立された「仙台まるごとパス運営協議会」並びに「仙台市観光シティループバス運行協議会」事務局の運営を担った。

ア 仙台まるごとパス運営協議会事務局運営

- ・リーフレット，ポスター，特典ブック等の作成と活用
- ・パス販売促進策の推進と広報宣伝の実施
- ・販売実績

期 間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
枚 数	8,122枚（前年度比107%）

イ 仙台市観光シティループバス運行協議会事務局運営

- ・リーフレット等の作成と活用
- ・乗車実績向上にむけた広報宣伝の実施
- ・利用実績

期 間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
乗車人員	206,898名（前年度比102.3%）

（3）仙台西部地区観光振興事業

仙台の観光振興にとって重要な観光資源を有する仙台西部地区への観光客誘致拡大を図るため、各種事業を展開した。

【各地区共通】

i. 仙台西部観光振興推進協議会の運営

仙台西部地区の一体的な観光振興を図る上でのニーズ等を集約する観光事業者組織「仙台西部観光振興推進協議会」の事務局運営を行った。

【第24回（令和3年度第1回）】

日時：令和3年6月29日（火）14時00分～15時30分

場所：仙台観光国際協会4階会議室

出席人数：13名（うち事務局6名）

主な会議内容：①令和3年度仙台観光国際協会事業について

②公益財団法人仙台観光国際協会「中期ビジョン」の一部改訂について

③その他

【第25回（令和3年度第2回）】

日時：令和3年11月30日（火）14時00分～15時30分

場所：仙台観光国際協会4階会議室

出席人数：10名（うち事務局4名）

主な会議内容：①令和3年度助成金事業の執行状況

②令和4年度助成金事業について

③就航都市プロモーションについて（松山、出雲・松江）

④三井アウトレットパーク仙台港「仙台いいもの再発見フェア」

【観光振興助成金交付事業報告会】

日時：令和4年1月27日（木）

場所：仙台観光国際協会4階会議室

出席人数：10名（うち事務局4名）

主な会議内容：各事業者が実施している事業報告と情報交換

ii. 観光振興(地域活性化支援)事業の助成【重点】

仙台西部地域で活動する団体が、観光資源を活用した誘客促進や観光客の受入環境整備等の観光振興を目的として実施する事業に対して、経費の一部を助成した。

実施地区	件数	金額
秋保地区	7件	4,837,000円
作並・定義地区	※9件	6,127,000円
泉西部地区	2件	1,317,000円
合計	18件	12,281,000円

※新型コロナ感染拡大による中止2件を含む。

iii. 観光事業者等との連携による観光振興策の創出

仙台西部地区内の観光事業者等と積極的に情報交換を図り、観光振興策の創出等に繋げた。

職員参加状況（開催行事支援及び会議等）（延べ人数）

時間帯	早朝	時間内	夜間	休日	計
職員数	0	133	2	25	160

iv. クーポン付マップのWEB化

仙台西部地区（秋保・作並・定義・泉西部）を網羅したクーポン付マップのWEB情報を更新し、観光客入込数の増加を図った。

v. 仙台西部地区マルシェ開催告知支援（仙台西部地区への誘客）

仙台西部地区で個別に開催・告知されているマルシェを1つにまとめた開催案内チラシを作成し、市役所本庁、泉区役所、秋保・宮城各総合支所、秋保・里センター、作並・定義地区観光案内所など広く配布し、集客の拡大と各マルシェの周遊を図った。

① 秋保地区の観光振興に関する事業

仙台市秋保地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域の魅力向上に繋がる企画を実施した。また観光に関わる設備（街路灯・観光看板等）の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境を整備するとともに、これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行った。

i. 観光施設等の維持管理

秋保温泉の街路灯施設、案内誘導柱（内1基を補修修繕）、案内看板、歓迎こけし塔等の維持管理等を行った。

ii. 秋保温泉郷旅あるきマップ等の作成

・秋保温泉郷内を観光や飲食、ウォーキングやサイクリング等で楽しめる「秋保温泉郷旅あるきMAP」を作成・配布し（4万部）、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

・温泉街での消費拡大を図るため、各旅館からのオリジナル温泉街散策マップ（13館分制作）をデータ化し、配布した。（配布用印刷は各旅館）

・秋保工芸の里や観橋パーク、ガラス工房元、仙台万華鏡美術館等の施設に秋保温泉街の飲食マ

ップ（窓口用）を制作し、配布した。

iii. 祭り・イベント等の開催支援

秋保商和会観光事業、大東岳山開き、「まつりだ秋保」等への開催支援を行った。

・秋保商和会観光事業

①花いっぱい運動

②街路灯七夕飾り付け 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

・大東岳山開き：令和3年5月30日（日）神事のみ開催

・まつりだ秋保：令和3年10月24日（日） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

・アキウルミナ2021：令和3年10月23日（土）～11月21日（日）

広報宣伝協力等

・さかいの産直市：令和3年6月19日（土）～11月14日（日）の毎週土日合計39回開催

（※8月14日（土）・15日（日）除く）

ウェブサイト情報の更新・イベント用チラシ制作等（印刷用データ作成）

・野尻交流カフェばんどころ：令和3年4月10日（土）～12月12日（日）の毎週土日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全営業見送り

ウェブサイト情報の更新等

② 作並・定義地区の観光振興に関する事業

仙台市作並・定義地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域の魅力向上に繋がる企画を実施した。また観光に関わる設備（街路灯・観光看板等）の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境を整備するとともに、これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行った。

i. 観光施設等の維持管理

作並温泉の街路灯施設、歓迎こけし塔の塗装修繕、案内看板（内1基の劣化調査）や定義地区の街路灯施設、歓迎塔の維持管理を行うほか、大倉ダム周辺の桜の天狗巣病対策として剪定を実施した。

ii. 作並温泉郷・定義旅あるきマップ等の作成

作並温泉郷及び定義地区をウォーキングやサイクリング等で楽しめる「作並温泉郷・定義旅あるきマップ（3万部）を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

iii. 祭り・イベント等の開催支援

定義如来夏祭り、ほっこり作並への開催支援を行った。

・定義如来夏祭り：令和3年8月7日（土）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

・ほっこり！作並事業：令和4年2月12日（土）

③ 泉西部地区の観光振興に関する事業

仙台市泉西部地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該の魅力向上に繋がる企画を実施した。これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行った。

i. 泉西部旅あるきマップ等の作成

泉西部地区をウォーキングやサイクリング等で楽しめる「泉西部旅あるきMAP」（1万部）等を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

ii. 祭り・イベント等の開催支援

泉ヶ岳山開きへの開催支援を行った。

令和3年4月17日（土） 神事のみ開催

(4) せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

映像作品を通じた地域振興・観光振興を目的に、映像製作者を対象に、ロケーション撮影に必要な支援の無償提供や、ロケ地に関する情報提供、撮影許認可の簡便化、市民エキストラの手配等、また支援した映像作品が公開・放映される際の宣伝活動を、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮のうえ、実施した。

① せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

i. ロケーション撮影誘致と支援業務

国内の映像作品を中心に関係各所と連携の上、対応を行った。

- ・映画「余命10年」
- ・東映70周年記念時代劇映画
- ・北村龍平監督新作映画 等

ii. 地元ロケ作品の積極的なPR活動の展開

年度内に作品2作品が全国公開され、関係各所と連携したプロモーション活動を実施した。

- ・映画「護られなかった者たちへ」を活用したプロモーションの実施
※上記支援作品は第45回日本アカデミー賞優秀作品賞を受賞
- ・アニメ「バクテン!!」を活用した舞台地自治体と連携したプロモーションの実施

iii. 地域啓発事業

- ・地元メディア及び紙面媒体等を通じたフィルムコミッション活動の告知
- ・仙台短編映画祭2021への参画, 等

iv. 支援実績

- ・映画, TV番組, CM, 書籍等 支援件数141件（うち撮影実績32件）

v. 経済効果

当事業の実施による宮城県全体に対する経済効果は下記のとおり。

- ・令和3年度直接経済効果： 約52, 136, 000円
- ・産業連関表に基づく二次波及効果：約87, 000, 000円

(5) 仙台・青葉まつり支援事業

仙台を代表する祭りの一つである仙台・青葉まつりについて、期間中の観光客拡大を目的に仙台・青葉まつり協賛会事務局に関する業務のほか、伊達政宗公山鉾の巡行に関わる業務及び「奉納の会」に関する業務を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により第37回仙台・青葉まつりは開催中止となり、代替事業として「復興提灯（伊達門）と山鉾展示」（期間：令和3年6月24日（木）～27日（日））が実施された。

2. 物産振興に関する事業

仙台地域の伝統・文化の継承と発展に寄与することを目的に、仙台の物産品・名産品等のPR及び仙台の

伝統工芸の後継者育成をはじめ、物産品・名産品等の販路拡大のための支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、他県での物産展の開催・協力、プロモーションについては観光企画等の中止により実施できず、地元の顧客に向けた市内での販売会企画を実施した。

(1) 物産振興に関する事業

① 物産振興に関する事業

i. 物産関係団体との連携強化

- ア (公社)宮城県物産振興協会・観光土産品公正取引協議会との連携
 - イ 仙台箆笥協働組合との連携
 - ウ 仙台商工会議所との連携
 - エ 仙台市産業振興事業団との連携
 - オ 仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会との連携
- 情報発信：9件

ii. 地元銘品・銘菓や伝統工芸品等の奉納と展示（奉納の会）

第37回仙台・青葉まつりの開催中止にともない、奉納の会を中止した。

iii. 震災復興支援物産展の開催・協力

東日本大震災以降、復興支援をいただいている全国の自治体や関係団体からの物産展への出展依頼に関し、賛助会員に周知並びに出展調整を行った。

- ア 東北絆まつり2021山形
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行っていた食品販売ブースの出店調整および現地での観光PR等は実施しなかった。
- イ 震災復興支援に係る物産展開催要請に対する対応
対応件数 1件（広島市立広島商業高等学校：12月）

iv. 仙台銘品ガイドの作成

市内の物産パンフレット（商品名、メーカー、問合せ先等掲載）である仙台銘品ガイドを物産品のPRに活用した。

物産パンフレット「仙台の銘品ガイド」の増刷：コロナ禍の影響で中止

v. 仙台市工芸展の開催

仙台の工芸品の展示・販売会を開催した。

2022仙台市工芸展

開催日：令和4年2月4日（金）～2月13日（日）

開催場所：エスパル仙台本館

vi. 物産品に関するプロモーションの実施

- ア 姉妹都市等への物産品PR
プロモーション実施を予定していた白老町の「白老牛肉まつり」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- イ 展示会・物産展等出展
・仙台・宮城“いいもの再発見”フェア
開催日：令和3年11月27日（土）～11月28日（日）

- 開催場所：三井アウトレットパーク仙台港 センタープラザ・イベントステージ
- ・事業者支援企画「夏の仙台物産フェア」
 - 開催日：①WEB 販売：令和3年7月23日（金）～8月 8日（日）
 - ②現地販売：令和3年8月 1日（日）～8月 5日（木）
 - 開催場所：①仙台観光国際協会オンラインショップ「伊達な銘品横丁」
 - ②JR 仙台駅2F 東西自由通路「杜の陽だまりギャラリー」
 - ・事業者支援企画「冬の仙台物産フェア」
 - 開催日：①WEB 販売：令和3年12月 1日（水）～令和4年1月16日（日）
 - ②現地販売：令和3年12月15日（水）～12月19日（日）
 - 開催場所：①仙台観光国際協会オンラインショップ「伊達な銘品横丁」
 - ②JR 仙台駅2F 東西自由通路「杜の陽だまりギャラリー」

3. コンベンション推進に関する事業

仙台市及びその周辺地域の発展と活性化を図ることを目的に、コンベンションの情報収集・誘致・支援といった一連の事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりコンベンション開催が相次いで中止・延期となった。こうした中、企業内会議等開催の促進、宿泊・MICE 施設の利用向上を図るための助成制度を実施した。また、海外渡航の制限・自粛や新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインを活用し、アフターコロナを見据えた支援説明・商談を行った。

(1) コンベンション誘致・支援事業

① コンベンション助成事業

項目	件数	金額
コンベンション開催助成(国際会議, 国内会議)	4件	2,800,000円
リアル・オンライン ハイブリッド会議開催助成	5件	2,500,000円
市民公開講座開催助成	0件	0円
シャトルバス運行助成	0件	0円
開催準備資金貸付	0件	0円

申請件数 ・コンベンション開催助成：21件

(うち17件は、中止・延期・オンライン開催のため、申請取り下げ)

- ・市民公開講座開催助成：0件
- ・シャトルバス運行助成：0件
- ・開催準備金貸付：0件

② コンベンション誘致事業

学会や大会の事務局やキーパーソンなどに対して仙台でのコンベンション開催のセールス活動及び招請活動を行うとともに、IME (国際MICE エキスポ) に出展し、仙台の魅力をPRすることでコンベンションの誘致拡大を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による海外渡航の制限・自粛により、オンラインを活用した支援説明、商談を行い、アフターコロナを見据えた会議誘致を図った。

i. 国際会議に重点を置いたコンベンション誘致セールス

首都圏での誘致セールスは実施できず、東北大学を中心とした地元の会議キーパーソンへの訪問・オンラインによる支援説明を実施した。(68件)

また、直接訪問の代わりに東北大学関係者の方を対象に、「コンベンション開催支援セミナー」をオンラインで開催し協会の支援事業の説明を行った。

開催日：令和3年7月8日(木)・9日(金) 計6回開催

1回目4名 2回目4名 3回目3名 4回目4名 5回目4名 6回目4名

ii. 国際会議協会 (ICCA) データの調査並びに部会参加による情報収集

ハイブリッド形式で開催された第60回ICCA年次総会へオンラインで参加し、コンベンション市場の最新の動向やコロナ禍におけるコンベンションのあり方、さらに先進都市の開催情報等の調査・情報収集を実施した。

iii. 国際 MICE エキスポ (IME) による商談と会議情報収集

国内外の MICE 主催者を対象に商談を行う「IME2022 (オンライン)」に参加し、会議主催者等とのオンライン商談を実施した。

開催日：令和4年2月16日(水)～2月17日(木)

主催：JNTO (日本政府観光局), JCCB (日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)

商談件数：14件

iv. コンベンション主催者の招請への参加 (オンライン Meet Japan)

JNTO が海外の国際会議のキーパーソンを日本へ招請している事業をオンラインで実施した「オンライン Meet Japan」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

代替として、国際会議オンライン商談会 (シンガポール) に参加した。

開催日：令和3年12月8日(水)

商談件数：4件

v. 東北地区コンベンション合同誘致懇談会における情報収集と商談

東北地区コンベンション推進協議会主催合同誘致商談会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

vi. コンベンション誘致資料の翻訳

展示会等の中止や延期等により、出展のパフレット、誘致資料等の翻訳業務は実施なし。

vii. M (ミーティング) I (インセンティブ) 誘致セールス

・企業が実施する M, I に関する誘致セールスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため首都圏等への訪問セールスを断念し、仙台市内の旅行代理店や宿泊施設等44ヶ所へセールスを実施した。

宿泊施設：23施設 MICE 施設：1施設 旅行代理店：10社 全国旅行業協会：1

・会議等の開催の促進ならびに宿泊および MICE 施設の利用促進を図るために、会議等の開催経費を一部助成する「仙台市企業内会議・研修会助成制度」を実施した。

実施期間：令和3年12月17日(金)～令和4年2月28日(月)

助成申請件数：11件

助成実績件数：3件 人数：140人 助成額：700,000円

③ コンベンション支援事業

仙台で開催されるコンベンションに対し、その開催に必要な助言・サポート及び仙台紹介のためのツールの提供など、事前準備段階から開催まで様々な支援・サービスを実施し、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与し、開催件数の増加及び国際会議ボランティアの育成・派遣によるおもてなしの向上を図った。

i. 国際会議ボランティアの育成・派遣

ア 「国際会議語学ボランティア オンライン研修会」の開催

内容：国際会議ボランティア登録者を対象に国際会議開催時の活動を想定した、基調講演「国際会議 あなたの語学力を活かす3つのポイント」及び、シンポジウム「With コロナにおけるボランティア活動と Post コロナに向けての取り組み」

開催日：令和4年1月22日（土）

参加者数：13名

イ ボランティア派遣

対象となる会議等が中止・延期となったため実施せず。

ii. コンベンション開催時の歓迎表示

全国会議を対象にJR仙台駅2階のウェルカムボード等へ歓迎表示を実施した。

掲出件数：国内会議19件

iii. コンベンション誘致・支援キットの作成

下記のコンベンション誘致・支援のツールを作成した。

- ・MICE 充実ガイド
- ・文化観光施設割引券

iv. 開催会議への支援メニュー（アトラクション、エクスカージョン、体験プラン）の提供

対象会議等が延期・中止などになったため実施せず。

v. MICEサポートセンターの設置・運営

コンベンション等MICE受入を目的とした各種情報の収集、セミナー等の開催を行った。

ア 「MICE レベルアップセミナー」の開催

開催日：令和4年1月25日（火）

場所：khh ぐりりホール

テーマ：「正しく恐れて安心・安全なMICE開催」

講師：国立病院機構仙台医療センター 臨床研究部 西村 秀一ウイルスセンター長

参加者数：44名

イ 「仙台コミュニケーションフェア in 仙台国際センター」の開催

新型コロナウイルス感染症の影響等により中止

ウ WEBによる仙台の魅力の発信

仙台の伝統や文化等を紹介する特集記事を作成し、コンベンション参加者向けホームページ（Sendai Convention Navi）のリニューアルを行った。

エ 日本コンベンション研究会主催のMICEフューチャー・アクション2022 in富山への参加
オンライン商談会が主流の今、日本全体のMICE誘致力の向上を目指し、プレゼンテーション能力を競い合い、レベルアップを図るためのイベントに参加した。

【MICEプレゼンテーション「都市・エリア対抗」コンテスト（オンライン）】

コンベンション推進課・体験プログラム推進室、仙台国際センターが「チーム仙台」としてエントリーし情報発信を行った。

開催日：令和4年1月18日（火）～19日（水）

場所：富山県南砺市

エントリー数：10団体

オ その他支援

- ・観光などパンフレットの提供
- ・コンベンションバッグの提供（有料）
- ・オンライン懇親会用物産販売

vi. 「第17回世界地震工学会」の歓迎

新型コロナウイルス感染症の影響からハイブリッド開催となったが、歓迎用ポスターを作成し地下鉄や商店街にポスター掲示を行った。歓迎の意を表すプログラムや街中ツアー等はコロナ禍で実現できなかったが、ランチパスポート（冊子版）を配付し参加者の市街地への回遊促進を図った。

開催期間：令和3年9月26日（日）～10月2日（土）

4. 多文化共生・国際交流に関する事業

言葉や習慣などの異なる外国人住民が、自らの個性を活かしながら、地域の一員として活躍できる多文化共生社会の形成を目的として、国際交流や国際理解などに関する各種事業を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、感染対策を徹底した事業運営とともにオンライン等も積極的に活用した。また、外国人住民向けに新型コロナウイルス感染症に関する支援情報を多言語で提供し、相談対応や通訳などの支援を行った。

（1）外国人市民支援

① 日本語学習支援事業

生活に必要な日本語の習得を目的として、市民団体や関係機関との協働により、外国人住民のための日本語講座等を開催した。また、マンツーマンで日本語学習を支援する日本語ボランティアの研修及び活動支援を行った。

i. 日本語講座の開催

市民センターや市民団体との協働により、市内6か所に日本語学習支援の場をつくり、外国人住民が生活に必要な日本語の習得を支援した。

ア せんだい日本語講座

期間：（前期）5月～10月 （後期）11月～3月

受講者：（前期）67名 （後期）65名

イ 日本語ティールーム（託児付き）

期間：5月～3月開講

受講者：30名

ウ さっと日本語クラブ（小中学生対象）

期間：5月～2月

受講者：13名

エ その他の日本語学習支援団体に対する広報及び活動費の支援

- ・外国人の子ども・サポートの会
- ・泉日本語サロン
- ・茂庭台日本語サロン

ii. 日本語ボランティアの活動支援

日本語学習の希望者に、学習支援のために日本語ボランティアを紹介するとともに、登録ボランティア向けの研修会を開催した。

ア 日本語ボランティア研修会の実施

開催日：令和3年9月11日（土）

場所：オンライン（Zoom使用）

テーマ：「日本語ボランティアのためのオンライン日本語レッスン 実践編」

講師：AYA（佐藤綾子）氏

（㈱インレックス取締役 日本語教師・日本語コーディネーター）

参加者：37名（定員40名・申込者44名）

イ 日本語ボランティアの登録と学習者への紹介

- ・登録者ボランティア数 91名（コロナ禍で活動休止中の人を含む）
- ・学習者希望申し込み者数 11名
- ・学習を開始した学習者数 9名

（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインでの学習希望者のみ受付）

ウ 市民団体が行う研修会への協力

iii. 地域日本語教育の体制整備

外国人住民の新たな学習ニーズに応える地域日本語教育の体制づくりのため、コーディネーターを配置し、下記のとおり実施した。

ア コーディネーター、アドバイザーの配置

下記の日本語教育の専門家を配置し、総合調整会議の開催、現状の分析、オンライン日本語教室の運営等を行った。

- ・総括コーディネーター：小河原義朗氏
- ・地域日本語教育コーディネーター：高橋亜紀子氏、吉田環氏、菊池哲佳氏、吉永絵美氏
- ・アドバイザー：土井佳彦氏

イ 総合調整会議の開催

大学、市民団体、外国人コミュニティ、日本語学校等の関係者を招集し、市内の日本語教育の現状と今後の方向性、関係機関の取り組みの共有と連携の検討などを議論した。

- ・第1回総合調整会議：令和3年12月2日（木）
- ・第2回総合調整会議：令和4年2月22日（火）

ウ 地域日本語学習支援検討会の開催

地域日本語教室等関係者を対象とし、コロナ禍における外国人住民や市内各教室の状況を共有するとともに、地域日本語教育の体制整備事業について取組み状況や方向性を説明した。

開催日：令和3年11月1日（月）

出席者：市内18教室関係者 23名

エ オンライン教室の試行

外国人住民の学習ニーズに対応するため、関係機関等と共催、協力するなどし、新たな学習機会を創出した。

子ども対象オンライン教室：全38回、受講者数39名

(「v. 外国につながる子どもの支援」に詳細を掲載)

成人対象オンライン教室：全51回、受講者数53名

オ 地域日本語教育の体制整備事業ウェブサイト開設

地域日本語教育の体制整備事業について広く市民に知ってもらうことを目的として、その実施背景・概要・目的等を記載するウェブサイトを制作・公開した。

② 生活支援事業

外国人住民が、交通安全や防災、文化・習慣など日本での生活に必要なことについて学び、地域で安心・安全に暮らすためのオリエンテーション等の実施、生活に必要な情報の翻訳と広報を行うと共に、言語や習慣等の違いから学校生活や進学に困難を抱える外国につながる子どもとその家族を支援するため、ガイダンスや学習教室の開催、情報提供等を、感染症対策やオンライン活用などと共に実施した。またコロナ禍で困窮する外国人住民向けの情報発信、支援も行った。

i. コミュニティ通訳の育成・派遣

行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをする「コミュニティ通訳サポーター」の登録、派遣を行い、サポーター向けのフォローアップ研修を開催した。(「仙台多文化共生センターの運営」を参照)

ii. 生活オリエンテーションの開催

外国人住民が安心・安全に暮らすため、日本語講座、日本語学校、専門学校、大学等に出向いて交通ルール、ごみ分別、防災等に関する生活オリエンテーションを行った。

ア せんだい日本語講座「にほんごカフェ」

時期、参加者：7月～1月(全3回)、延べ25名

テーマ：SenTIAの紹介、災害について、ワークショップ(こけしの絵付け)

イ 出前講座

開催数、参加者：通年0回、延べ0名

iii. 生活情報の多言語化

健康、子育て、防災など外国人住民の生活に必要な情報を、行政機関や市民団体と連携して多言語に翻訳・提供した。また、仙台市と協力して、新型コロナウイルス感染症に関する情報を発信した。(全90件、主にベトナム語、ネパール語への翻訳)

新型コロナウイルス感染症に関する情報：69件		その他：21件(下記参照)	
災害防災・消防：8件	ごみ処理：4件	生活：3件	健康・子育て：2件
税金・年金：2件	住民登録：1件	その他：1件	

iv. FMラジオ多言語放送による情報発信

FMラジオ4局の協力を得て多言語による情報発信を行った。平常時は季節の話題や生活情報を提供し、災害発生時には支援情報を提供するツールとして活用した。

放送日：言語ごと月1回14分間放送

内容：生活情報、イベント情報等

言語：英語、中国語、韓国語、やさしい日本語

協力：エフエムたいはく、fmいずみ、ラジオ3、エフエムなとり

v. 外国につながる子どもの支援

外国人児童生徒をはじめとする外国につながる子どもを支援するため、通訳や情報提供、学習支援のできるコーディネーターを学校等に派遣した。

ア 「外国につながる子どもサポートせんだい相談デスク」

相談事案数：19件（小学校12件，中学校3件，他3件）

コーディネーター・職員派遣数：22件（小学校：14件，中学校：4件，他：4件）

第1回研修会（オンライン開催）

日時：令和3年8月6日（金）10：00～12：00

参加者：7名

第2回研修会（SenTIA コミュニティ通訳サポーターとの合同オンラインミーティング）

日時：令和4年3月24日（木）14：00～15：30

参加者：11名（内，コーディネーター5名）

教材・参考資料の整備と貸出

学校現場等で有効な日本語学習の教材を整備し，貸出を行った。

新規貸出：2校（4教材）

継続貸出：7校（58教材）

イ 日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス宮城

- ・「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス宮城2021」の開催

開催日：令和3年8月28日（土）

場所：仙台多文化共生センター，オンライン（Zoom）

内容：会場とオンライン両方で高校進学に関する情報提供，質疑応答を行った。

参加者：23名

- ・進路ガイダンス実行委員会 HP への進路情報・動画の掲載
- ・中学校の先生から外国につながる子ども・親へのメッセージ動画の作成
- ・「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイドブック」（ネパール語）の翻訳

ウ 日本語を母語としない小中学生のためのオンライン教室

内容：オンライン（ZOOM）を使用した教科学習及び日本語学習支援

共催：宮城教育大学，協力：（公財）宮城県国際化協会

第1回：令和3年6月11日（金）～7月21日（水）※毎週水・金曜（全12回）

参加者 22名，支援協力者 23名

第2回：令和3年11月5日（金）～12月15日（水）※毎週水・金曜（全12回）

参加者 19名，支援協力者 25名

第3回：令和4年3月2日（水）～3月25日（金）※毎週水・金曜（全12回）

参加者 27名，支援協力者 26名

エ 「日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室」（オンライン教室）

内容：外国につながる小中学生を対象の日本語を中心とする学習支援。新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン開催とした。

共催：宮城教育大学 教育学部 教授 高橋 亜紀子氏

日時：令和3年8月4日（水），5日（木）の2日間

参加者：13名（小学生8名、中学生3名、その他2名）

支援協力者：9名（宮城教育大学、外国につながる子ども支援コーディネーター）

オ 外国人児童と家族のための小学校入学準備情報のオンライン講座

内容：オンライン（ZOOM）を使用し小学校生活や準備物、子どもの学習に関する情報提供、言語別相談の場を設ける。

開催日：令和4年3月3日（木）実施

参加者：4組5名

カ 外国につながる子ども支援ガイドブックの作成

令和元年度に（一財）自治体国際化協会の助成を受けて作成した外国人保護者向けのガイドブックのネパール語版を作成した。

「日本の小学校」、「日本の中学校」：ネパール語版各200部

vi. 防災啓発（多言語による防災情報発信及び防災訓練の実施）

防災ガイドブック、DVDの活用により外国人住民の防災意識を高めるとともに、外国人防災リーダー育成研修を行った。

ア 外国人防災リーダー育成研修

地域防災に貢献する外国人防災リーダーの育成を目的とし、防災に関心のある外国人に対し、日本の災害や防災の仕組み、外国人支援についての研修を実施した。

日時：令和3年7月31日（土）10:00～12:00

場所：仙台多文化共生センター研修室

内容：「やさしい日本語」版マイタイムラインに関する説明と演習

参加者：外国人防災リーダー9名

イ 仙台市消防局指令課外国人対応訓練「やさしい日本語講座」への協力

外国人住民による119番通報の入電対応訓練。外国人防災リーダーを外国人役として派遣。

実施日：令和3年12月16日（木）

場所：仙台市消防局（7F講堂）

参加者：外国人防災リーダー1名

ウ 仙台防災未来フォーラムへの参加

宮城県国際化協会と共同で災害時・防災に役立つ多言語情報・ツールの紹介を行った。ブース展示では、防災に役立つ多言語の情報・資料を展示した。

日時：令和4年3月5日（土）9:30～16:30

場所：仙台国際センター展示棟

参加者：外国人防災リーダー5名

エ Date fm 防災番組「Sunday Morning Wave」への協力

番組内「Global Talk」のコーナーに出演するゲストについて、防災活動に取り組む外国人住民等を紹介し、Date fm（エフエム仙台）に協力した。

放送日：毎月第2日曜日

番組名：防災情報番組 Sunday Morning Wave 内「Global Talk」

vii. 留学生へのリサイクル自転車斡旋

例年、留学生の生活支援を図るため、仙台市が回収した放置自転車を宮城県自転車軽自動車商業

協同組合の協力により修理し、市民団体と協力して留学生に斡旋・販売していたが、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

viii. 新型コロナウイルス感染症に関する支援

ア 新型コロナウイルス感染症に関する情報を仙台市と協力して多言語化し、SNSや関係団体への周知など様々な手段を使って発信した。【再掲】

イ 仙台市と協力し、留学生を受け入れている大学や専門学校等の関係者を対象に感染状況等の情報共有や、感染拡大防止策の周知、各学校の取り組み状況や懸案事項等の情報共有を目的に、意見交換会を開催した。

ウ 社会福祉協議会等と協力し、困窮する外国人に対しての支援を行った。

(2) 災害時の外国人支援

① 仙台市災害多言語支援センター運営事業

大規模災害発生時、外国人住民や旅行者など、言葉や習慣等の違いから情報が入手しにくく支援が受けられない恐れがある外国人を支援するために仙台市が設置する「災害多言語支援センター」を運営するための訓練を行うとともに、発災時に外国語での情報提供を行った。また、災害時に避難所等で活用する「多言語指さしボード」を作成・配布した。

i. 仙台市災害多言語支援センター設置・運営

令和3年度は設置なし

ii. 仙台市災害多言語支援センター設置運営訓練

開催日：令和3年7月6日（火）

場所：仙台多文化共生センター研修室

参加者数：35名（協会・仙台市・青葉山コンソーシアム職員等）

内容：仙台市災害多言語支援センター概要、コロナ禍におけるマイタイムライン説明

iii. 警報発令時、発災時における多言語情報の発信

件数：3件

内容：令和3年7月26日（月） 台風8号に関する注意喚起

令和4年3月17日（木） 地震及び津波注意報に関する注意喚起 2件

発信手段：国際化事業部ブログ、Facebook、Twitter、メールマガジン

iv. 多言語指さしボード制作・配布

災害時に避難所等で活用することを想定し、CLAIR（自治体国際化協会）作成「多言語指さしボード」の仙台市版を制作し、避難所（学校・市民センター）に配布した。

内容：多言語指さしボード（15言語：「やさしい日本語」、英語・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）・韓国語・ベトナム語・ネパール語・タガログ語・インドネシア語・タイ語・ミャンマー語、スペイン語・フランス語・ポルトガル語・ロシア語）及びフードピクト

v. 災害多言語支援センターリーフレットの増刷

数量：10,000部

② 仙台市災害時言語ボランティア育成事業

大規模災害発生時に外国人被災者の支援を行う市民ボランティアを「仙台市災害時言語ボランティア

ア)として募集し、研修を行った。

i. 登録

登録者数 81名、対応言語 20言語（複数言語登録あり）

ii. 研修会、訓練

ア 仙台市災害時言語ボランティア研修会

防災リーダーとの合同研修

開催日、参加者：令和3年7月31日（土）、20名

イ その他の研修や訓練への参加

愛知県災害ボランティア研修

開催日、参加者：令和4年2月24日（木）、1名が講師として参加

(3) 地域づくり支援事業

市民が自主的に行う国際交流、国際協力、多文化共生に関する活動に対して補助金を交付した他、外国人住民の状況や多文化共生について考える講座を開催した。また、新規事業として「せんだい多文化まちづくりプロジェクト」を実施した。学校や市民センターなどが実施する国際理解講座に対し、外国人住民等の講師紹介をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施できなかった。

① 地域づくり支援事業

i. 国際理解の推進

学校、市民センター等が実施する国際理解事業に対して、講師の紹介や情報提供などの支援を行う事業であるが、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、実施できなかった。

人材の登録と派遣

- ・登録者数 70名（25の国と地域）
- ・派遣件数 0件（小学校0件、中学校0件、高校0件）
- ・派遣講師数 0名
- ・参加者数 0名

ii. 市民団体による多文化共生活動等の支援

市民の自主的な国際交流、国際協力、多文化共生等の活動促進を図るため、事業経費の一部を補助した。

交付団体数	7団体
金額	572,000円

iii. せんだい多文化まちづくりプロジェクト

仙台における多文化共生の推進を図るためウェブサイトを作成し、仙台で暮らす外国人の声や、国際交流・協力分野に関わる市民団体の活動の様子、協会事業を動画で紹介した。動画を作成するにあたり、基本的な知識及びノウハウを学ぶための研修会を開催した。

- ・動画制作のための研修会の開催

日時：令和3年10月17日（日） 10:00～12:00

場所：仙台多文化共生センター研修室

講師：王友安氏（株式会社コミュニナ 国際プロジェクトコーディネーター）

テーマ：撮影準備・企画、撮影・編集方法、著作権等について

参加者：19名（せんだい留学生交流委員13名，担当職員6名）

・動画制作

多文化共生，国際交流・協力に関わる市民活動の紹介（3本）

外国人住民の生活・活動紹介（3本）

協会事業に関わる活動紹介（3本）

・せんだい多文化まちづくりチャンネルウェブサイトの制作

iv. 多文化共生講座の開催

区役所等で窓口を担当する職員を対象として，外国人住民対応研修を実施した。

・外国人住民対応研修

令和3年11月 5日（金）実施 仙台市若林区役所職員 12名参加

令和3年11月 8日（月）実施 仙台市役所職員 23名参加

令和3年11月10日（水）実施 仙台市宮城野区役所職員 17名参加

令和3年11月17日（水）実施 仙台市泉区役所職員 14名参加

令和3年11月26日（金）実施 仙台市太白区役所職員 20名参加

令和3年12月 3日（金）実施 仙台市青葉区役所職員 19名参加

・消防隊員，救急隊員対象外国人対応訓練【再掲】

令和3年12月16日（木）実施 仙台市消防局指令課職員 30名参加

（4）人材育成事業

国際交流や外国人支援に意欲のある外国人留学生を，せんだい留学生交流委員として委嘱し，各種事業への協力を得るとともに，地球規模の課題や地域の課題について考える機会を提供した。

① 人材育成事業

i. 留学生による多文化共生活動の促進

外国人留学生を，協会や仙台市が行う諸事業への協力などの活動を行う「せんだい留学生交流委員」に委嘱し，その活動のための奨励金を支給した。

・人数：前期18名，後期17名

・活動内容：各種講座・ラジオ出演等，協会事業への協力，仙台市事業への協力

（5）国際交流事業

国際姉妹友好都市等から訪れる市民団や青少年団の受入等の事業により，市民の国際交流活動を促進する予定であったが，新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大から，交流・受入事業は実施できなかった。

① 国際交流事業

i. 仙台国際ハーフマラソン大会姉妹都市等選手団交流会（実施無し）

ii. ホストファミリーボランティア

・登録者数：64家庭

・内容：他団体が主催するホームステイ登録説明会の情報提供を行った。

5. 調査・研究・広報・情報発信に関する事業

活力ある都市づくりに資することを目的として，仙台の観光、コンベンション並びに多文化共生に関する

る調査・研究広報・情報発信を行うことにより、各分野における事業を推進するとともに、各種団体による地域における様々な活動を促進させた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインを積極的に活用した。また、外国人住民向けに新型コロナウイルス感染症に関する支援情報を多言語で提供した。

(1) 調査・研究・広報事業

① 観光・コンベンション等に関する調査研究広報事業

i. コンベンション施設関係者との情報交換会の開催

コンベンション施設及び開催業務サポーターとの情報交換会

- ・第1回 コンベンション施設

開催日、参加数：令和3年11月24日（水）、6団体

- ・第2回 仙台コンベンション業務サポーター

開催日、参加数：令和3年12月15日（水）、8団体

ii. コンベンション開催情報誌への広告掲載

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため実施せず。

iii. コンベンションカレンダーの作成

仙台のコンベンション等開催情報の提供を目的としたカレンダーを作成し、関係者へ提供した。

- ・令和3年度下期版 10月発行
- ・令和4年度上期版 3月発行

iv. 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）・日本政府観光局（JNTO）を活用した調査研究

国際会議等コンベンション情報の収集を目的とし、JCCB及びJNTO事業へのオンラインセミナーに参加した。

ア JNTO

- ・「ウェビナー 京都コンGRESS」

開催日：令和3年4月20日（火）

- ・「国際会議誘致・開催支援に関するウェビナー」

開催日：令和3年9月2日（木）

- ・「ADVANCED オンラインMICEセミナー」

開催日：令和4年2月22日（火）～24日（木）

イ JCCB

- ・「シンガポールのコロナ禍でのMICE事情」

開催日：令和3年12月20日（月）

- ・「ポストコロナの会議誘致・インセンティブの旅行誘致の実践」

開催日：令和4年2月1日（火）

v. 東北地区コンベンション推進協議会における調査広報

東北全体でのコンベンション活性化を目的とし、東北地区コンベンション推進協議会の運営、事業を行った。

- ・総会 現地開催は中止、オンラインにて実施した。

開催日：令和3年10月14日（木）

・研修会 現地開催中止となり、オンライン講演会・情報交換会を実施した。

開催日：令和3年12月22日（水）

講演：「SDGsの視点で見るMICEとは」

vi. コンベンション開催情報の収集及びデータベース化

コンベンション開催状況及び営業用情報の把握に向け、データシステムの運用より収集した大会等のデータベース化を行った。

vii. 各種コンベンション関係情報の発信

メールマガジンの発行：6回

viii. コンベンションアンケート調査の実施

コンベンションの中止・延期等により、開催アンケート調査は3件。

ix. 観光コンベンションセミナーの開催

令和3年度については、仙台商工会議所文化観光部会と共催し下記のセミナーを開催した。

開催日：令和4年2月25日（金）

会場：ウェスティンホテル仙台及びオンライン配信による視聴

テーマ：「地域引力を生み出す 観光におけるブランド構築」

講師：静岡県立大学 経営情報学部 教授 岩崎 邦彦氏

② 多文化共生等に関する調査研究広報事業

多文化共生社会の形成及び国際交流や国際理解などに関する様々な事業を推進するため、地域の現状及び各種課題に関する調査・研究及び市民の理解促進を図るための広報事業を行った。また、外国人住民向けに新型コロナウイルス感染症に関する情報を多言語化し、各種ツールで広報した。

i. 多文化共生等に関する調査研究

多文化共生等にかかる現状、課題、今後の方向について調整・研究を行う他、各種協議会や研修会への参加を通して、関係機関とのネットワーク構築を図った。

ア 地域国際化協会連絡協議会総会（書面決議）

イ 東北・北海道国際化協会連絡協議会、研修会

開催日：令和3年8月27日（金）

場所：オンライン（Zoom使用）

ii. 多文化共生等に関する広報

広報紙、メールマガジン、SNS を通して事業を広報し、多文化共生に関する意識啓発を行った。また、他団体からの依頼により職員を派遣し、防災や多文化共生の取り組みを紹介した。

ア 「多文化共生情報誌 SENDAI Lifestyle」の発行

2,500部/年2回発行（日本語）

イ 「国際化事業部ホームページ」の運営

ブログ、Facebook、Twitter

（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語）

ウ 「メールマガジン SenTIA メール」の配信

（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語）

登録者：2,280名登録 ※重複登録可

(日本語 1,614名, 英語 1,122名, 中国語 243名, 韓国語 106名, ベトナム語 60名, ネパール語 32名)

配信数: 日本語 79件, 英語 56件, 中国語 50件, 韓国語 52件, ベトナム語 37件, ネパール語 37件

災害等情報 計 49件 ※新型コロナウイルス感染症関連含む。全言語総計。

エ 事業広報等のための講師派遣, 原稿執筆等

派遣回数: 22回 内容: 防災・多文化共生について

③ 専門委員会調査研究事業

各事業の推進及び活性化を目的に, 各専門委員会を設置し, 外部有識者等からの意見・提言を求め各事業に活かす予定であったが, 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み, 一部委員会の開催を中止した。

i. 観光専門委員会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。

観光専門委員会宿泊部会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。

ii. コンベンション推進専門委員会

第1回: 令和3年7月1日(木)実施 11名参加

テーマ「コロナ禍における MICE 業界の課題」

第2回: 令和4年3月16日(水)実施 12名参加

テーマ「MICE 関係者としてアフターコロナに向けて取り組むべきこと」

iii. 物産専門委員会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。

物産専門委員会工芸部会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。

iv. 国際化専門委員会

第1回: 令和3年7月27日(火)実施, 9名参加

テーマ「新規事業及び新型コロナウイルス感染症に関する対応等について」

第2回: 令和4年3月22日(火)実施, 9名参加(オンライン開催)

テーマ「地域日本語教育の体制整備, 多文化まちづくりプロジェクト報告等について」

(2) 情報発信事業

① 情報発信事業

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により, 国内の観光客誘致を主として仙台の最新の観光情報やイベント情報等の情報発信を実施した。

i. 観光宣伝パンフレットの作成

・仙台観光マップの作成配布

配布数 111,444部(前年度比32.1%)

・仙台シティマップの配布

配布数 1,562部(前年度比13.9%)

ii. 多言語版観光宣伝パンフレットの作成

- ・増刷部数：英語版 39,500部
簡体字版 9,000部
繁体字版 13,500部
韓国語版 8,000部
タイ語版 13,500部

iii. 仙台シティマップの作成

- ・増刷部数：英語版 20,000部
簡体字版 6,000部
繁体字版 6,000部
韓国語版 3,000部

iv. 仙台市観光情報サイト「せんだい旅日和」による情報発信

仙台市の観光、イベント情報、関連する役立ち情報等を紹介するWEBサイトの運営、管理を行った。

- ・総アクセス件数：年間 2,512,253件
- ・総ページビュー数：年間 3,106,161ページビュー数

v. 首都圏案内所等での情報発信事業

仙台のパンフレット等を東京駅に隣接する観光案内所「TIC TOKYO」にて配布、PRを行った。

vi. 機関紙等会員サービス事業

新型コロナウイルスの状況を踏まえた、会員に関するサービス事業を行った。

ア 賛助会費減免の実施

新型コロナウイルス感染症による各会員事業者への影響を考慮し、賛助会費については申請制による減免措置を実施した。

イ 会員ホームページやメール配信を活用した情報提供

各種補助金の情報等なども含め会員に対する情報提供を行った。

6. 情報提供・交流促進に関する事業

情報提供や交流促進を担う各種施設を円滑に運営することにより、地域の観光の発展と国際交流・多文化共生の促進を図った。新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、施設の営業日及び営業時間を随時見直すなどしながら情報提供・交流促進事業を継続した。

(1) 観光情報施設の運営

① 仙台市観光情報センター運営事業

仙台・宮城はもとより東北に来訪される観光客等を対象に、JR仙台駅において市内観光情報や東北広域情報の提供および相談案内を実施した。

利用実績

	年間利用実績（4月～3月）※営業日数：365日
日本人	51,903名（前年度比109.4%）
外国人	2,180名（前年度比125.2%）
計	54,083名（前年度比110%）

② 仙台市作並・定義地区観光案内所運営事業

仙台市作並・定義地区を訪れる観光客に対し、当該地区の観光地や物産、宿泊施設等を紹介するため、仙台市作並・定義地区観光案内所を運営した。

利用実績（窓口案内・電話問合せ含む）

年間利用実績（4月～3月） ※営業日数：333日	7,237件（前年度比41.7%）
-----------------------------	-------------------

（2）仙台多文化共生センターの運営

多文化共生社会の実現を目的として、外国人住民や地域づくりに関わる市民に活動や学びの場を提供するとともに、幅広い交流の機会やにぎわいの場を創出した。新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、開館日等の調整や施設内の一部サービスの利用制限を行ないながらの運営となった。感染拡大時には健康観察に関わるコミュニケーション支援や、コロナ禍で困窮する外国人住民向けに多言語情報を提供し、相談対応や通訳などの支援を行った。

① 仙台多文化共生センターの運営 ※開館日数：302日、相談対応日数：343日

入場者数： 7,691人（前年度比101.8%）

相談受付数：3,027件（前年度比102.6%）

図書貸出数： 748冊（前年度比 90.3%）【和書405冊、洋書343冊】

i. 外国人住民への情報提供・相談対応【重点】

市民団体との協働により、外国人市民の生活に関する情報を収集・提供した。また、仙台出入国在留管理局、仙台弁護士会、東北税理士会、宮城県行政書士会、宮城労働局等の専門機関と連携し、専門相談会を開催した。

専門相談会実績：42件

ii. 行政窓口等におけるコミュニケーション支援【重点】

外国語相談員及び通訳サポート電話の活用と、行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをするコミュニティ通訳サポーターの派遣により、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語等の多言語にて外国人住民を支援した。

ア 外国語相談員

対応言語：中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語

イ 通訳サポート電話

対応言語：英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語等 20言語

対応実績：1,019件

ウ コミュニティ通訳サポーター

登録者数：37名（13言語）

派遣実績：71件（区役所24件、小学校14件、児童相談所11件、中学校10件、保育園4件、幼稚園3件、発達相談支援センター1件、その他4件）

研修会（第1回）

日時：令和3年6月24日（木）14:00～16:00

形式：オンライン開催（Zoom利用）

参加者：10名（コミュニティ通訳サポーター登録者、その他関係者）

研修会（第2回）

日時：令和4年3月3日（木）14：00～15：30

形式：オンライン開催（Zoom利用）

参加者：15名（コミュニティ通訳サポーター登録者，外国につながる子どもサポート
せんだいコーディネーター，その他関係者）

※「外国につながる子どもサポートせんだい」コーディネーター研修会と合同開催

iii. 国際活動・多文化共生に関わる団体の支援

国際交流・多文化共生に関わる団体の情報を収集・提供した。また，登録団体に対して活動場所を提供し，事業の広報に協力した。

団体登録数：148団体（うち研修室利用登録団体：74団体）

iv. 外国人観光案内所としての情報提供

43件（日本人30件，外国人13件，外国人対応者0件）

v. 『仙台生活便利帳（多言語版）』（仙台市発行）の編集

英語版1,400部，中国語版1,000部，韓国語版400部，ベトナム語版800部，
ネパール語版800部を令和4年3月に発行。

vi. 広報誌発行

『仙台多文化共生センターだより』（年4回発行）

日本語版1,100部／回，

英語版，中国語版，韓国語版，ベトナム語版，ネパール語版各600部／回を発行。

[収益事業]

1. 観光駐車場等管理運営事業

仙台を訪れる観光客の利便性を図るため、仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営を行った。コロナ禍での乗降場利用の減少に対応するため、管理運営体制の効率化を図り運営した。

(1) 観光駐車場等管理運営事業

① 観光駐車場等管理運営事業

仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営

利用実績

	令和3年4月1日～令和4年3月31日
利用台数	12,791台（前年度比122.7%）
利用金額	6,989,500円（前年度比121.5%）

2. 物産・銘産品等販売事業

(1) 物産・銘産品等販売事業

① 観光案内所等における物品販売

観光案内所等において、観光客を対象に土産品等の販売を行い、土産品の販売拡大と観光客へのサービスの充実を図る。

仙台市作並・定義地区観光案内所における土産品、JR乗車券販売手数料

年間販売実績	778,570円（前年度比96.7%）
--------	---------------------

② 物産品販売事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインショップを主として仙台の物産・銘産品を販売し、物産振興と販路拡大を図った。

i. るーぷる仙台チョコQの作成及び名刺台紙の販売

販売実績

品名	令和3年4月1日～令和4年3月31日
るーぷる仙台チョコQ	1,400,390円（前年度比124%）
名刺台紙	7,700円（前年度比30.4%）

ii. オンラインによる物産販売【新規】

オンラインショップ「伊達な銘品横丁」を活用し、仙台の工芸品や食品等のオンライン販売及び紹介を行うと共に、関係団体による仙台の土産品の販売機会の創出、認知度の向上を図った。他業種連携による「仙台名物こけし」「仙台プロスポーツこけし2022」の販売も行った。

総売上	3,104,658円
-----	------------

iii. 仙台・青葉まつりと連携した仙台駅銘品・工芸品フェアの開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

iv. コンベンション会場における土産販売

総売上	404,166円
-----	----------